

門司中学校 実践交流会 分散会 第2ブース

音楽科 第1学年

単元名

「日本の伝統音楽に親しみ、
そのよさを味わおう」

授業のねらい

箏の奏法による様々な音色と箏曲の序破急がもたらす効果について考え、話し合う活動を通して、箏のよさに気づき、伝えることができるようにする。

ICT機器の活用場面①

パツとなっくと
ワクワク

楽器が
苦手でも
教えられる!

DVD-ROM付き
Windows対応
教材アプリ収録
(Windows10/8.1/7推奨)

ヤマハ デジタル音楽教材 箏授業

大事なポイントを押さえて学べる!
・解説モード
・練習モード



ボタン操作で
動画再生も自由自在!
・手元アングル切り替え
・速度変更
・リピート再生

パソコンで タブレット
端末で

小・中学校の授業で
そのまま使える!!

Wordで
編集可能!

授業にすぐ使える
授業モデル・ワークシート付き



YAMAHA

・「引き色」「かき爪」「後押し」それぞれの奏法による音色の違いを言葉で表現し、音色と奏法の特徴を知る。

本時の目標 箏の特徴やよさを見つけよう。

箏曲「六段の調」

奏法名

しょうが
唱歌

奏法

引き色

チーン

左手で糸を柱の方にたぐりよせる

かき爪

シャン

隣あう弦を中指で同時にかき鳴らす

後押し

テーン

右手で弾いた後、左手で糸を押し

ツウーン

- ・CDで3種類の奏法を、ゲーチャキパーで聴き分けたり、生徒の意見などは板書して、振り返ることができるようにした。

ICT機器の活用場面②



- 「速度」に注目する。

グラフに初段から六段までの速度変化を記入する。



6

初段

二段

三段

四段

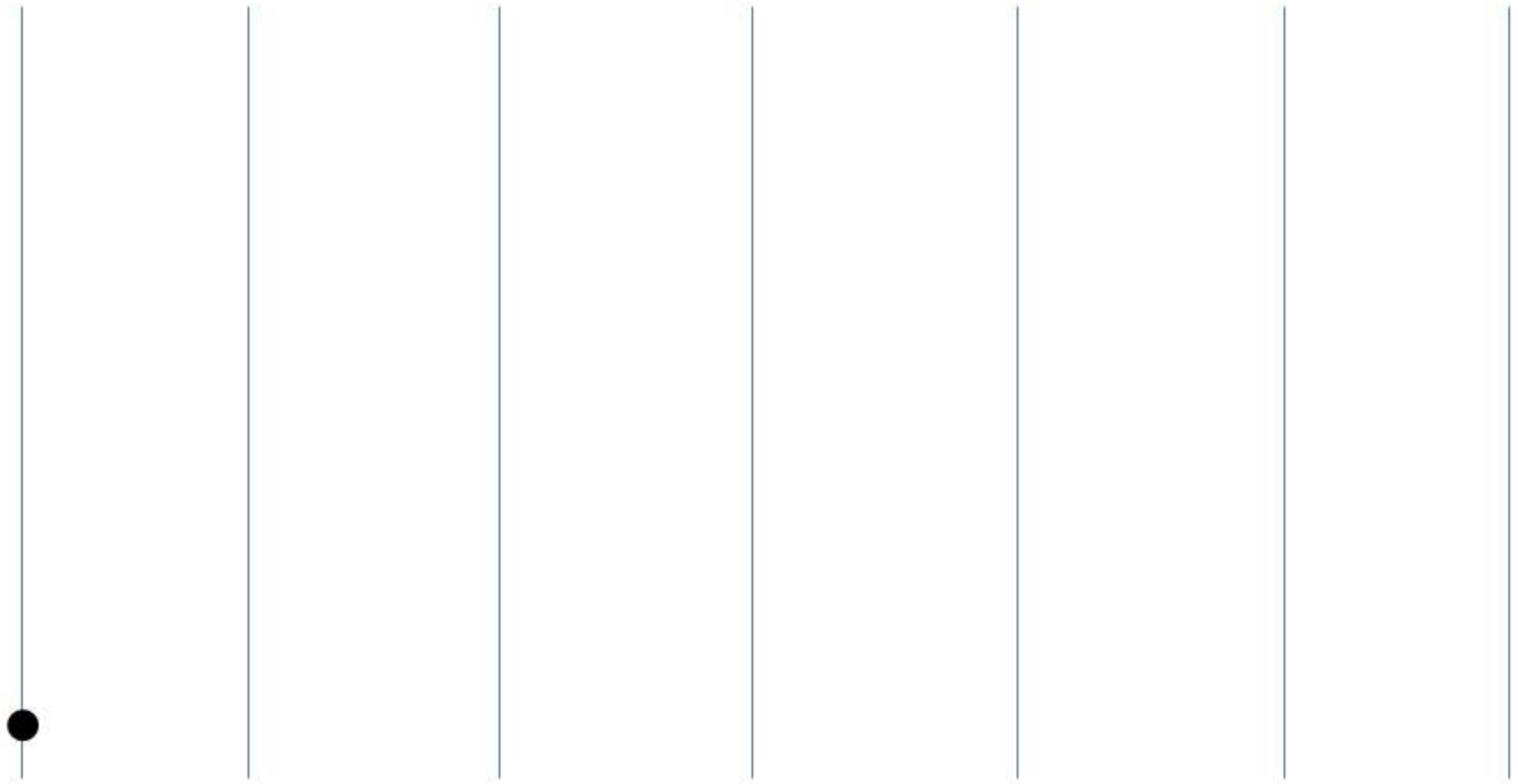
五段

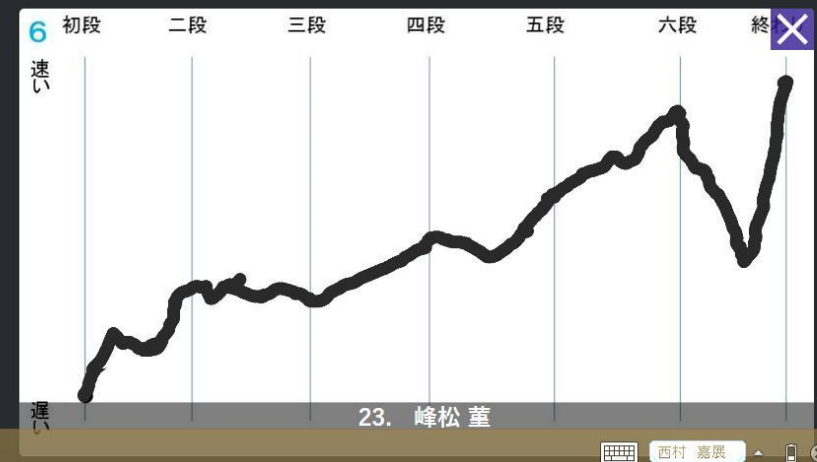
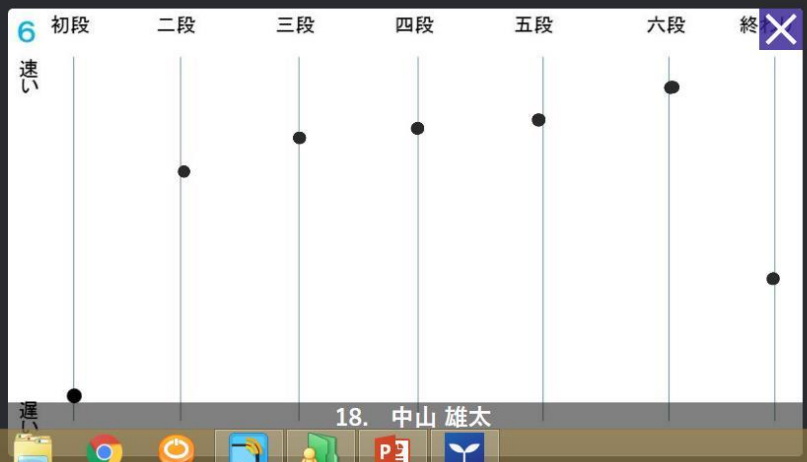
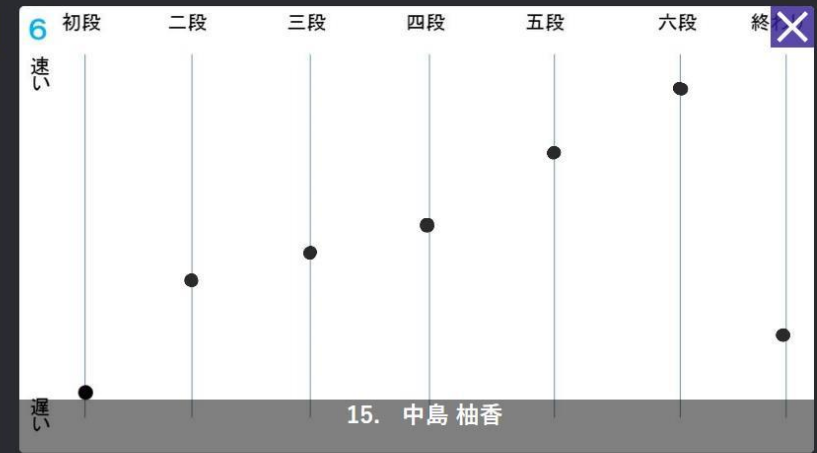
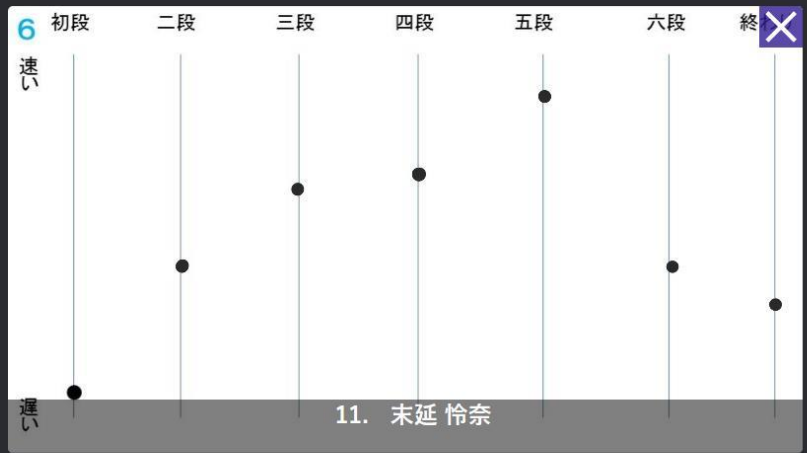
六段

終わり

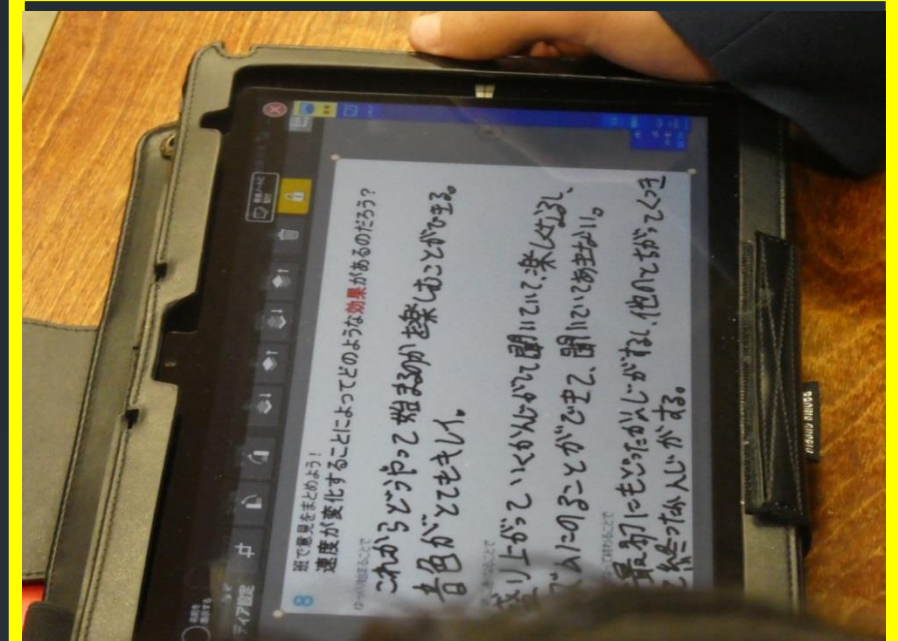
速い

遅い





ICT機器の活用場面③



- ・「序破急」の速度変化の特徴を知る。
「序破急」よって、どのような効果があるのか各自で考えた後、班で意見交流し考えをまとめる。



班で意見をまとめよう！

速度が変化することによってどのような**効果**があるのだろうか？

画面共有

ゆっくり始まることで

やさしくおっとりすることができる。

次第に速くなることで

はくりよくが**おど**キ**ど**キする。

ゆるやかに**な**って終わることで

りらら**ア**ア**ア**することができる



班で意見をまとめよう！

LIVE モニタリング

MYボード

提出BOX

終了

画面共有

速度が変化することによってどのような**効果**があるのだろうか？

ゆっくり始まることで

おだやか、おちつく

次第に速くなることで

あせる、激しくなる

ゆるやかになって終わることで

やさしい、おちつく、しっとりくる

11 まとめ

箏を知らない友達に箏のよさを伝える文章をつくってみよう！

箏は、()
な楽器で、

箏曲「六段の調」は、()
な特徴がある。

だから、()
なよさがあります。

生徒の反応

・机の上にタブレットPCのみを置くことで、他に目移りするものがなく、授業や発問に対して集中して思考できている様子が見られました。また、大型テレビとタブレットPCを併用することで、テレビが見えづらい位置にある生徒や特別に支援の必要な生徒にも各自の手元でわかりやすく鑑賞することができ、理解を深めることができました。意見交流の場においては、自分の言葉で表現できない生徒は、タブレットPCで、他の生徒の意見を参考にしながら、話し活動に意欲的に参加できている様子も見られました。

成果と課題

・生徒の身近にICT機器があるため、授業時はスムーズに導入することができました。タブレット導入は、特に意見交流の場では、紙媒体ではむずかしいことや、時間短縮にはとても有効的です。また、ICTを使った授業は、生徒の興味関心はもちろんのこと、理解を深める上で効果的と感じたので、箏の授業においても、演奏や奏法を各自手元で見せたいと考えていましたが、現在の本校のネット環境では、スピーカーの音と手元の映像に時間差ができてしまい断念しました。この辺はこれからのICTの課題だと思います。



門司中学校 実践交流会

分散会 第2ブース

技術・家庭科 第1学年

単元名

「 献立作りと食品の選択 」

授業のねらい

○必要な栄養素を満たす1日分の献立を考えることができる。

ICT機器の活用場面



○朝食, 昼食, 夕食をタブレットに入力し, 自分の食べたものを確認する。

○三食のグラフの数値を見て, 自分の食生活の中でとりすぎている食材, 足りない食材を知ることができる。また, 足りない食材を見てどのようなものをプラスすればバランスが取れるかシュミレーションしてみる。

生徒の反応

- 身近なテーマで、意欲的に自分の生活への振り返りができ、タブレットPCでは記入・消去が簡単にできるので、考えるきっかけになった。
- 画面から次々に課題が提示されることにより、関心も高まり、積極的に授業に参加出来た。
- 最後に自分の食べたものを1つずつ画面で確認したことで、他の人の食生活を見ることで、自分の健康について考えている人、そうでない人の違いを知ることができた。

成果と課題

<成果>

○タブレットPCに入力し、自分の食生活の振り返りだけでなく、他の人がどのような食生活を送っているかを知ることによって、食に対する興味・関心が高まった。

○ノートに1週間分、1日分の食生活を記入する宿題を通して、自分の宿題が即時に画面に映し出して全体で比較・共有できるという点で時間の無駄がないこと、また、生徒は自分の日常生活の中で食べることは当たり前になっていて、振り返ることなどなかったことが、画面に映し出されるということで興味深く食について考えることができた。達話し合いの活動をする場面で、他者の意見と比較・共有できることでタブレットPCは効果的だと思う。